



フリーダ・トランゾ・イエーガー 「Against Meaninglessness」

会期: 2024年9月27日(金) - 11月10日(日)

会場: タカ・イシイギャラリー 前橋

オープニング・レセプション: 17:00 - 19:00

タカ・イシイギャラリー 前橋は、フリーダ・トランゾ・イエーガーによる個展「Against Meaninglessness (アゲインスト・ミーニングレスネス: 無意味への反抗)」を開催いたします。本展は当ギャラリーにおけるトランゾ・イエーガー初の個展となります。脱植地的な思考、クィアの自由、自然との結びつきといったテーマや、彫刻的で複数のパネルを繋ぎ合わせたキャンバスと刺繍という特徴的な表現形式を継続的に取り入れつつ、社会政治的危機や暴力的過激主義など、現在の社会情勢から生じる問題にも言及します。

トランゾ・イエーガーは本展の枠組みを構築するにあたり、日本の哲学者である西谷啓治の著作、特に彼のニヒリズム(虚無主義)に関する研究を分析することから始めたと述べています。彼女の主な関心は、西洋、さらには世界中でのファシズム、ポピュリズム、戦争やジェノサイドの台頭にあり、これらの問題の原因は現在若者が目の当たりにするような主体性の欠如にあると考えています。自分の行動では何の変化も起こせないという感覚は無力感を生み、それがニヒリズムにつながり、最終的にファシズムへの扉を開くためです。西洋哲学ではニヒリズムはニヒリズム自体によって克服できるとされていますが、トランゾ・イエーガーはこの点に議論の余地があると考え、今回の作品群ではニヒリズムと禅宗を統合するという西谷の提案に焦点を当てています。ニヒリズムにおいて問題となるのは自己であり、その自己の無意味さゆえにすべてが無意味とされます。一方、仏教はこの無意味性あるいは「空」こそが万物の生じる基礎であると説き、空がなければ何も生じることはありません。無が意味の源であるという考えは、現代において非常に美しい提案であると作家は述べます。なぜなら、空白のキャンバスがどんな絵画にもなり得るように私たちの存在も無から始まるといえるからです。

本展覧会は、「庭園」「宇宙」「ハート」「車」の4つの主題で構成されています。「庭園」は無から生まれる未来と、来るべき混沌の中で私たちが喜びや充実感を見出す場所として描かれます。「宇宙」では作家は「より未来的な未来をどこに託すのか?」と問いかけます。宇宙の彼方では、終末を待ち望む技術者たちはすでにこの惑星を見限り社会を再構築しようとしています。彼らはどのような社会を想像しているのでしょうか?そして、なぜ私たちは自分たちの考えを構築する前に、彼らの考えに従わなければならないのでしょうか?「ハート」はシンボルそのものを解読するための彼女の象徴的な作品です。欲望と愛が一体となった不可分の存在であるとされている中、作家は私たちが欲望をどのように増幅させ、なぜニーズと欲望を切り離すことができないか、批判的に問う必要があると主張します。どれだけ対象を愛し、オンラインで「ハート」を送り、消費行動をしても、内なる虚は広がり続ける一方です。また「車」は作家の長年にわたる制作の延長にあり、ジェンダーやアイデンティティといった存在論的な権力構造が表れる、後期資本主義の心理的空間を表しています。

トランゾ・イエーガーは、西洋美術の伝統的なセミオロジー(記号学)に挑戦しながら、私たちの未来創

造に向けて新たな地平を切り開き、現代社会の問題克服を促します。

フリーダ・トランゾ・イエーガーは 1988 年生まれ、メキシコシティを拠点に活動。ハンブルク美術大学にて美術学士号と美術修士号を取得。近年の個展に「A future in the light of darkness」Modern Oxford（オックスフォード、2024 年）、「Frieda Toranzo Jaeger: Autonomous Drive」MoMA PS1（ニューヨーク、2022 年）、「The Perpetual Sense of Redness」Baltimore Museum of Art（2021 年）がある。また第 60 回ヴェネツィア・ビエンナーレ「Stranieri Ovunque – Foreigners Everywhere」（2024 年）、「La revolución se bajó del caballo y el caballo del muro」Sala de Arte Público Siqueiros（メキシコシティ、2023 年）、「Sirenas en Lava, Lobos en Cuevas」Anahuacalli（メキシコシティ、2023 年）、NGV トリエンナーレ 2020（メルボルン）、「The Making of Husbands; Christina Ramberg in Dialogue」KW Institute for Contemporary Art（ベルリン、2019 年）などのグループ展にも参加。

是非、貴誌・貴社にてご紹介下さいますようお願いいたします。尚、掲載用写真の貸出など、ご質問がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

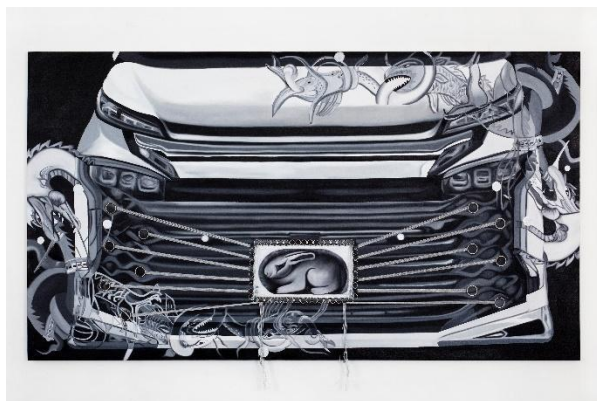
タカ・イシイギャラリー 前橋 展覧会担当: 上松エリサ プレス担当: 生井未沙 (press@takaishiigallery.com)

Seiya Nakamura 2.24 Inc.: 田邊友里恵 (yurie@seiyanakamura224.com)

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町 5-9-1 tel: +81 (0)27 289 3521 fax: +81 (0)27 289 5560

e-mail: tig@takaishiigallery.com website: www.takaishiigallery.com

営業時間: 11:00 – 19:00 定休日: 月・火・祝祭日



Frieda Toranzo Jaeger
“Against Meaninglessness”, 2024
Oil on canvas, hand embroidery
110 x 200 cm

© Frieda Toranzo Jaeger
Photo: Ramiro Chaves